

## ひと・夢・まち 町長コラム

### 夏に咲く大輪の花（令和4年8月号）

JR 羽前長崎駅西側の農地に先月中旬、ひまわり迷路がオープンしました。高さ2メートルほどのひまわりが咲き誇り、町内の園児と今年デザインを担当した長崎小6年生が歓声を上げ駆け回っていました。ひまわり迷路は、2017年の当時5年生だった長崎小児童が町のPRにと提案された事業で、毎年約50アールの農地に子どもたちが迷路を設計し、豊田大豆転作組合が中心となり作っています。大人の背丈以上に伸びた迷路は決して容易いものではなく、大人も子どもも大いに冒険心をくすぐられているようです。当時の子どもたちのまちづくりに対する提案には、未来に対して背を向けず前向きに進もうとする力と、生まれ育った故郷への愛着を感じたのを記憶しています。

ひまわりの種まきは、甲子園大会県予選が行われている時期に満開になるように計画され、毎年駅を降りた球児、応援する仲間たちを迎えています。勝ち続けた1校はもちろん、敗れた42校の選手の心の中にも夏の大輪は咲くのです。

いろいろな思いを馳せて撮られた写真の中には、太陽に向かって咲こうとするひまわりの凛とした姿と、彼らの想像しきれない未来への希望とが写し出されているだろうと思っています。